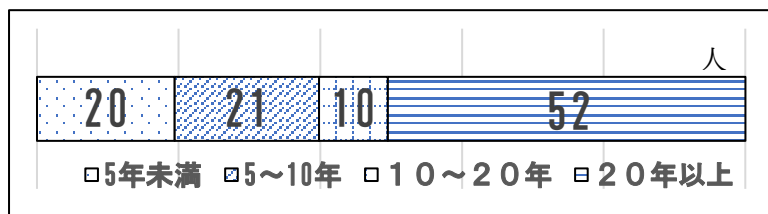


令和3年度 夏季研修会まとめ

令和3年度熊本県養護教諭夏季研修会は、8月6日（金）にリモート研修という形で実施した。今年は「学校における緊急時対応～頭部外傷～」という研修テーマで、日本体育大学の鈴木健介先生に Zoom で配信していただき、360度VRを使用した場面想定での対応について、グループワーク等の研修も行うことができた。以下、研修後アンケートをもとに報告する。

1 回答者数の内訳

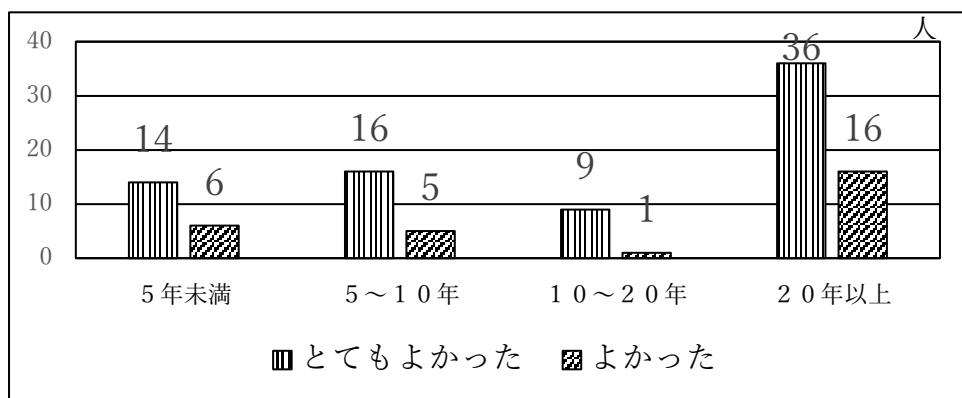
回答数103人／参加者数210人 ※回答数49%



昨年に引き続きリモートでの実施になったことやネット環境の整備が各地で進んでいる状況もあり参加申し込みは多かった。実際に当日のアクセス数も200人を超える研修参加者での開催になった。

2 講義・グループワーク、リモート研修について

講義・グループワークについては、「とても良かった」「良かった」の回答で100%の回答を得ることができた。また、年代別に見ても「とても良かった」の回答が多くあった。これらの結果は、研究委員が研



究のテーマ設定の際に、「今一番迷う救急処置は何か、学びを深めたい救急対応は何か」の視点で検討した内容が参加された会員のニーズと一致したことがあげられる。さらには、鈴木先生の講義が詳細で分かりやすかったことも高評価につながった。

3 講義・グループワークについての感想

講義の感想には、「写真・VRを用いて実践的具体的な内容でよかった」「頭部打撲は多くあり、対応に迷うこともあり参考になった」と、どの経験年数からもプラスの回答があった。また、「現在新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中での応急手当、対応について熟考する機会になった」との意見もあった。刻々と変化する現状を把握し、最善の対応は何かを常に模索する保健室経営の中で、今回の研修内容は参考になるものであった。また、ブレイクアウトルームで4～5人の少人数で実践を出し合うグループワークも、お互いの活動を振り返る良い機会になったといえる。

4 リモート研修について

昨年に引き続きリモート研修であったが、この研修スタイルに養護教諭がここ1年でかなり慣れてきたことで、より充実した研修になったと思われる。また、講師の鈴木先生のホストでZoomを行ったが、「チャットでのやりとりなどもでき、他地域の養護教諭と双方向に近い距離感で理解を深めることができた」との感想もあるように、このような研修スタイルは今後も継続してほしいとの意見も多くあった。

5 次年度へ向けて

次年度へ向けて58人の方（回答の約半数）は、鈴木先生の第2弾の講義を希望する回答であった。このことは、来年度の研修会構想の参考にしたいと思う。また、アンケート回答が半数であったことについては、アンケートの期間や形態など検討が必要かと考える。一方で、アンケートの内容は、今回の反省や来年度の志向の資料として重要であるため、実施後のアンケートは確実にお願いしたいと思う。

回答いただいた方、ご協力ありがとうございました。